

表2 佐伯市栄養改善業務推進計画の記載例

項目	現状	目標	達成するための条件	現在の条件の充足状況	施策の方向	評価基準
バランスのとれた朝食をとる	朝食を毎日食べる 78.5%	90.0%	バランスのとれた朝食が必要だ と思う	必要と思う児童 86.10% 必要と思う親 98.30%	食生活についての学習の場を保育園でも持てるようにする	保育園や学校等で行う食教育の実施回数や参加人数を把握する
	朝から主食、主菜、副菜がそろっている 15.8%	35.0%	朝食の準備に20分程度かけることができる	朝食の準備に20分程度かけてる 45.8%	手間をかけずに短時間で作れるバランス食の献立例を紹介する	
	骨折したことがある 14.2%		成績よりも健康や食生活が大事だ と思う	そう思う 95.6%	健康や食生活の大切さについてPTAの広報部や保健給食部等を通して広くPRする	
	朝食に蛋白質をとっていない児童では骨折の既往が有意に多かった					

研究協力者

尾島 俊之 (自治医科大学)

野渡 祥子 (神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所)

吉見千代子 (東京都板橋区保健所)

和田アツ子 (東京都板橋区志村健康福祉センター)

倉茂 光子 (東京都品川区保健所)

小林 陽子 (東京都世田谷区保健所)

樺澤 禮子 (新潟県小出保健所)

清水登美子 (石川県能登北部保健所)

岸田 正寿 (埼玉県健康増進課)

新しい地域保健福祉から見た栄養活動を考える学習会メンバー

平成11年度 健康科学総合研究事業

栄養活動から見た地域保健福祉活動の企画・評価に関する研究

報 告 書

発行日 平成12年3月

編集・発行 主任研究者 田中久子

(埼玉県北足立福祉保健総合センター)

〒330-0843 埼玉県大宮市吉敷町1-124

TEL 048-642-6461

FAX 048-657-4522